

GRASS ROOTSに 名を刻め!

— RESPECTから始める冒険 —

その63 (R05.10.03)

～ 笑顔と感動の運動会 その2 ～

9 JUMP



10 中野七頭舞



11 団リレー 1・2年



12 団リレー 3・4年



13 団リレー 5・6年



14 閉会式



◎閉会式のお話

はじめに、保護者のみなさま、お子さんへのあたたかい眼差しがとてもすばらしかったです。たくさんの拍手に支えられ、子供たち全員が、積み上げてきた練習の成果を、表現することができました。本当に、感謝の気持ちでいっぱいです。

また、練習から全力でがんばった児童のみなさん、練習を支えてくれた教職員のみなさん、涙なしでは語れない運動会をありがとうございました。暑くて暑い夏でしたが、熱い汗を流した分だけ、見ている人の感動を呼んだ涙の運動会になりました。

今年度の運動会では、児童代表がすばらしい運動会の振り返ることに変更しました。その理由として、運動会の主役は子供たちであるからです。私自身の感想は、後日、学校だよりでお伝えします。

たくさんのご声援、本当にありがとうございました。児童、保護者、教職員のおかげで、私自身も素敵な時間を過ごすことができました。



☆私が見た「芝根っ子魂」

「心燃やせ 芝根っ子魂」のスローガンのもと、笑顔にあふれ、涙が出るほどの感動する運動会になったことに感謝しています。

暑い日が続き、「運動会の練習は中止にして下さい。」「体育館でならできそうです。」など制限することを余儀なくされました。「迫力ある最高の運動会」にしたいけれど、「児童の安全第一」を考え、苦しい決断をしました。

校庭での練習が十分できない状況でも、各ブロックでは、質の高い練習、タブレット活用による個人練習など、創意工夫にあふれた取り組みをしました。

終わってみれば、「迫力のある最高の運動会」ができたと思っています。

さて、学年通信・学級通信・学級で配信されるクラスルームの投稿、児童の振り返り等で、児童一人一人のことはわかると思います。

ここでは、「芝根っ子魂」が感じられるたくさんのシーンから1つだけ紹介したいと思います。

5・6年生のリレーのワンシーンです。バトンを引き継いだ2人の選手が、競い合って走っていました。ここで、一人の選手が転んでしまいました。転んだ直後に、競っていた選手は転んだ選手を気遣い、後ろを気にしました。優しさにあふれるシーンでした。転んだ選手も、すぐに立ち上がり、けがの痛みをこらえながら、全力で走っていました。

最後まであきらめずに力を出し切る自分、そのがんばりをたたえる友達や教職員は、RESPECTそのものです。